

平成 28 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 29 年 1 月 17 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類・准教授

申 請 者 名 高木修一

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・ <u>学会参加</u>) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事 業 名	Psychonomic Society's 57th Annual Meeting への参加
事業実施期間	平成 28 年 1 1 月 ～ 平成 28 年 1 1 月
成 果 の 概 要	<p>心理学に関する国際大会である Psychonomic Society の第 57 回年次大会に参加して学会発表を行った。本学会は心理学の分野で世界的に権威ある学会の 1 つであり、国際的に活躍する多くの研究者が参加していた。</p> <p>申請者は「Event Segmentation in EFL Reading Comprehension Among Learners With Different L2 Reading Proficiency」の題でポスター発表を行った。研究の概要としては、第二言語で英語を学ぶ日本人大学生がどのように英文読解を行っているのかについて、Event Segmentation Theory の枠組みで検証を行ったものである。</p> <p>本発表に対して、認知心理学における読解研究の権威である Magliano や Graesser との質疑応答を行う機会があり、多数のフィードバックを得ることができた。母語話者の読解と比較する形で第二言語学習者の読解プロセスの特徴を検証した点の興味深さについては評価された一方で、分析手法や結果の考察については加筆・修正が必要であることが示唆として得られた。なお、本発表の成果については、参加者からのフィードバックを基にした推敲の後、査読付の国内学会誌への投稿を予定している。</p> <p>本事業による海外学会での研究発表は、研究成果の公開を促進した一方で、申請者の今後の研究に対する継続的な効果が期待される。</p>